

救急科



救命救急センター長
村田 祐二

診療内容と実績

当院では、救急処置室5室、診察室10室をセンター外来スペースに有しており、また入院設備として三次救命治療に必要な集中治療室(ICU)、CCU、HCU、及び救急用一般病床が合計で40床あります。一般放射線診断設備に加えてCT、DSA、緊急内視鏡室等が常時利用可能で、虚血性心疾患に対する再灌流療法、経皮的心肺補助循環装置(PCPS)、重傷頭部外傷・蘇生後脳症に対する脳低温療法、重症感染症、多臓器不全に対する血液浄化療法などを駆使して重傷患者の治療に取り組んでいます。

プログラムの目的と特徴

県内トップクラスの救急受診患者数(14,524人/2016年度)、救急車搬入患者数(5,722人/2016年度)の実績があり、各診療科専門医および日本救急医学会専門医の指導下に幅広い救急患者の診療に当たることが可能です。また、各種救急教育訓練コースの受講も推奨されます。

研修内容と到達目標

■短期研修

- ・指導医のもとで重要疾患の鑑別診断の習得、ER診療独自のアプローチ法に慣れる
- ・BLS、ACLS、PALS、JPTEC、JATEC等の救急教育研修コースを受講する

■1年研修

- ・指導医のもとでER診療独自のアプローチ法の習得、救急診療手技を習得する
- ・日本救急医学会専門医受験のための臨床症例を経験する
- ・各種救急教育訓練コースとインストラクターコースを受講する
- ・一定期間は他の専門診療科へのローテーションを推奨する
- ・ドクターカー乗車による病院前救急診療に参加する
- ・学会発表、論文投稿を行う

■2年研修

- ・複数患者の同時診療
- ・重傷救急患者の初療チームのリーダー役の訓練
- ・研修医の指導
- ・各種救急教育コースのインストラクター資格を取得する
- ・一般救急診療の他に、サブスペシャリティー研鑽のために専門診療科あるいは他施設での一定期間のローテーションも推奨する
- ・災害医療、メディカルコントロールなど、幅広い救急医療分野も経験する
- ・学会発表、英文での論文投稿を行う